競技・運営上の確認事項

１　競技は、2023 年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則および 2023 年度（公財）日本バレーボール協会競技要項、2023 年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部の６人制ルールの取り扱いによる。リベロ・プレーヤーは、試合ごとに２名まで登録することができる。

２　競技日程及び方法は、プログラム記載の通りとし、予選グループ戦及び決勝トーナメント戦による。なお、試合は３セットマッチとし、３位決定戦は行わない。

３　今大会は、（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「給水のためのタイムアウト」及び「熱中症対策としての団扇使用」を採用する。

４　試合開始の予定時刻を定めているが、第２試合以降は、予定した時刻より遅れることがあっても、早く開始されることはない。試合開始時刻とは、最初のサービス許可のホイッスルの時刻である。試合が、予定時刻より早く終わった場合、そのコートでは、試合開始予定時刻１６分前まではボールを使用した練習はできない。各試合とも、５分の合同練習（パス程度）後、プロトコールに入る。なお、当該チームの試合が連続してしまう場合は、前の試合が２セットで終了した場合は１０分間、３セットの場合は１５分間空けて、その後、合同練習、プロトコールに入る。なお、第１試合開始前のチーム練習については、練習内容の制限はしない。（ネットの使用も可とする。）

５　試合に関して、ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー、選手及びチーム補助生徒（５名以内）以外は入ることができない。但し、チーム補助生徒は、公式練習後はベンチ及びフロアに留まることはできない。

６　監督、コーチ、マネージャーのマークは、左胸部につけること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。

７　スタッフ（監督・コーチ）は、統一された服装（靴・靴下は省く）でベンチに入ること。（監督と合わせられない場合は、コーチがベンチから退出することになる。）また、マナーについては十分留意すること。選手の競技用ユニフォームについては、サポーター、ソックス等、ユニフォーム規定に従うこと。

８　試合コート及びフロアでのボール使用は、公式練習とセット間（フリーゾーンのみ）以外認めない。（ネットを使用しているチームの練習の妨げにならないようにする。）また、ロビー等でのウォーミングアップは禁止するものとし、他は会場ごとに定められた規則に従うこと。

９　キャプテンは、試合開始あいさつで使用した各校プラカードを、あいさつ後にコート担当役員に渡す。また、試合終了あいさつの際は、コート担当役員からプラカードを受け取る。試合前、試合後のあいさつは、エンドラインに整列しておこなう。今大会では、あいさつ後アタックラインまで進み、両チームが向かい合って拍手をすることで握手にかえる。試合前後の監督、キャプテンと審判員との握手は行わない。

10　エントリーの変更・訂正は、監督会議終了時に競技委員長に提出すること。これ以外の変更は、如何なる場合も一切認めない。変更あるなしにかかわらず提出すること。

11　決勝トーナメント戦の組み合わせ抽選会は、男女別に予選グループ戦の全試合終了後、準備が出来次第、松山市総合コミュニティセンター会議・研修棟３階大会議室にて行う。今大会は各ブロックの代表者による代理抽選とし、終了後速やかにホームページに掲載する。

~~12　開会式に参加する選手は１２名以内とし、チームで統一したユニフォームを着用すること。リベロであっても統一したユニフォームで参加すること。選手以外にマネージャーの参加も認める。ただし、マネージャーのユニフォーム着用は認めない。~~

13　男子決勝戦終了後に、松山市総合コミュニティセンター体育館メインアリーナにて表彰式を行う。１・２位の男女チームは競技用ユニフォームで参加すること。また、３位の表彰については、それぞれの準決勝戦終了後、コート上で行う。

14　その他

（１）　部旗・校旗を持って開始式・表彰式及びコートに入場することは禁止する。

（２）　各会場（練習会場含む）の規則に従うこと。特に上履きと外履きを区別すること。

（３）　体育館の開館時刻は８時００分、練習開始時刻は第１試合のチームのみ８時２０分からとする。８：２０～８：５０の練習は練習会場と同じ扱いとし、ネットの使用を認める。そのため、服装の制限はない。３０分間の練習を終えたのち、コートチェックのため、チームはコートから一度退場する。

　２１日（月）は、９時０５分より開始式を行うため、第１試合のスタッフ及び正式にエントリーされた選手はベンチ前に整列する。開始式終了後、合同練習は行わず公式練習に入る。

※　伊予市民体育館は開始式を行わないため、第１試合のチーム練習を８：３０～９：００とする。

（４）　館内の、チーム関係者のみが入場できるスペースでは、選手、スタッフともにＩＤを着用すること。コートに入ればＩＤを外しても構わないが、外部指導者はコーチ確認書を兼ねているので、ＩＤを着用しておくこと。

（５）　給水は、主催者より提供されたスクイズボトルを使用すること。スタッフは、原則として各自の水筒を利用するが、ペットボトルを持ち込む場合にはラベルをはがすこと。

（６）　試合中、スマートホン・タブレット・トランシーバー等の電子機器を使用することはできない。

（７）　本大会に関する質問や問い合わせは、全て大会事務局へ連絡すること。職務に支障をきたすため、大会会場や練習会場となっている体育館や学校関係施設などへの問い合わせは行わないこと。

審判上の注意事項について

（公財）日本中体連審判規則委員会

１　本大会は、２０２３年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則、および、２０２３年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部ルールの６人制ルール取扱いにより実施する。リベロは、試合ごとに２名まで登録できる。

２　プログラム記載時刻は、試合開始のホイッスルの時刻である。

３　「トス」の後、監督及びチームキャプテンは、記録用紙にサインする。その際、監督はリベロナンバーを記入する。

４　公式ウォームアップは、６分間とする。どちらかのチームが相手チームとは別にネットを使用したウォームアップを要求した場合は、各３分間ずつ行うものとする。その際、ネットを使用しないチームは、ネットを使用するチームの練習を妨げてはならない。

５　各セット開始前にコート内でハドルを組む際は、ラインアップシートに記載された６人とスターティングリベロの計７名までとする。

６　各コートには、ウォームアップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。

７　セット間は、フリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。

８　スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）

９　いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代選手とタッチ（ハイタッチ）などを行わないこと。

10　予選グループ戦及び、決勝トーナメント準々決勝戦まではワンボールで試合を行うので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。
　準決勝戦及び決勝戦は、５ボールシステムで行う。また、クイックモッパーを配置する。

11　およそ８秒のテンポでサービス許可を行うため、次のサーバーは、相手からの返球を待たずにサービスゾーンに移動し、ボールを待つ。

12　リベロリプレイスメントは、交代する２名がサイドライン上ですれ違うよう行う。その際、交代する選手同士が、手を挙げたり、つま先を揃えて一旦立ち止まったりする必要はない。

13　タイムアウトの要求は、オフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求すること。サブスティチューションについては、クイックサブスティチューションシステムを採用する。（準決勝・決勝はナンバーパドルを使用する。）

14　ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。タイムアウト、給水のためのタイムアウト、セット間及び審判員が危険と判断した場合のみモップの使用を許可する。

15　監督はラリー中、着席することをお願いする。ボールデッド時はその限りではない。但し、準決勝以降は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、ラリー中も立ちながら指示を与えてもよい。